

医

全日本医家管弦楽団
第22回定期演奏会

No. 22

家

R. WAGNER

楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」
第1幕への前奏曲

管

G. MAHLER

交響曲第4番ト長調



指揮：曾我 大介

東京ニューシティ管弦楽団首席客演指揮者

独唱：小泉 恵子

平成24年 3月 18日(日)

14:30開演 14:00開場

紀尾井ホール

(裏面に地図があります)

入場料 2000円
(全席指定)

【チケット・お問い合わせ】コンサートイマジン ☎ 03-3235-3777

【チケット取扱】 チケットぴあ ☎ 0570-02-9990

紀尾井ホールチケットセンター ☎ 03-3237-0061

On-line Service



演奏者紹介

指揮：曾我大介（そが・だいすけ） 東京ニューシティ管弦楽団首席客演指揮者



桐朋学園大学、ウィーン音楽大学等で、B.ハイティンク、G.シノーポリ、I.ムーシン、U.ラーヨピッチ、小澤征爾、田中雅彦、I.ケプテア、森正の諸氏に学び、1989年ルーマニア国立音楽院在学中にルーマニアでデビュー。

1993年ブザンソン・コンクール第1位。1998年コンドラシン・コンクール第1位。以降日本はもとより、ヨーロッパ、南米を中心に世界各地のオーケストラに客演を重ねている。

デビュー20周年の2009年には、5週間にわたりルーマニア各地のオーケストラに客演して聴衆と楽員に熱狂的に迎えられ、その後も2010年秋にブカレストのジョルジュ・エネスコ・フィルに、2011年3月にはルーマニア放送交響楽団とブラショフ・フィルに客演した。

近年は作曲家としても活躍。その作品は日本をはじめ海外でも演奏されている。

これまでにルーマニア国立放送交響楽団首席客演指揮者、大阪シンフォニカー交響楽団(現・大阪交響楽団)音楽監督を歴任。

2006年からブラジル・ロンドリーナ音楽祭首席指揮者。2009年4月から東京ニューシティ管弦楽団首席客演指揮者。音楽祭や講習会の講師、指揮者コンクールの審査員にも招かれ、後進の指導にあっている。

デルタ・クラシックスより、東京ニューシティ管弦楽団とのCDがリリース中。

東日本大震災復興支援のための“Kibou音楽プロジェクト”を国際的に展開。またチャリティ・コンサートにも多数出演し昨年8月には被災地の小学校に楽器を贈呈するなど、現在も積極的な活動を行っている。

曾我大介ホームページ www.soga.jp/

“Kibou音楽プロジェクト” ホームページ www.soga.jp/kibou/

ソプラノ独唱：小泉恵子（こいずみ・けいこ）

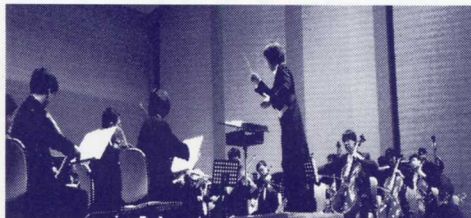


東京芸大卒業・同大学院修士修了。畑中良輔、三浦智津子両氏に師事。在学中に芸大メサイアにてソプラノソロ。卒業時には、NHK新人演奏会やFMリサイタルに出演。その後、米国サンフランシスコ音楽院に留学。ベラ＝ローザ（キリ＝テ＝カナワの師）から高く評価され、特別指導を受けた。帰国後、第一回奏楽堂日本歌曲コンクール第一位。山田耕筰賞・木下記念金メダル受賞。現在、宗教曲・日本歌曲・オペラ・オペレッタ・現代曲など国内外で幅広い演奏活動を行っている。

海外では、サンクトペテルブルグのスマルヌイ音楽堂にて、エレナ＝オブラストワとジョイントリサイタル（伴奏：ゲルギエフ、1997年）。聴衆総立ちのスタンディング・オーヴェイションを受け、現地の各新聞批評にて絶賛された。マリンスキー劇場で開催された第一回エレナ＝オブラストワ国際オペラコンクール（総裁：ゲルギエフ、1999年）の公式ゲスト・特別審査員。開会記念コンサートでゴルチャコワらと共演。第4回の同コンクールや、2011年9月に行われた第8回の審査委員としても招待を受けた。2003年からは、奏楽堂日本歌曲コンクール他の審査員も務める。最近では、大中恩愛の歌曲集『こんな静かな晩は』、ヴォカリーズ集『サンパロール』がビクター・エンターテインメントから発売された。

国立音楽大学・同大学院教授、青の会会員、東京室内歌劇場会員他。

全日本医家管弦楽団



毎年夏休みを利用して開かれる全国の医学系学生のオーケストラフェスティバルである「全日本医科学生オーケストラフェスティバル」出身者を中心に1990年に結成され、翌年に学生との合同で第1回定期演奏会を開催したのを始めとして、毎年1回のペースで定期演奏会を開催してきたアマチュアオーケストラ。学部を卒業し「医家」になって忙しい毎日を過ごしながらも音楽のことが忘れられず、月1回の練習には当直をやり繰りし日頃のストレスから解放されて音楽に没頭している面々である。今回はマーラーの交響曲に初挑戦！響きの美しいホールで大人の音楽、至福のひとときを楽しみにしている。毎年勤務先の変更等でメンバーを揃えるのは一苦労だが、学生時代からの知り合いと一緒に演奏できるのは単なる同業者の寄せ集めオケとは違って、格段に楽しいひとときである。



【託児サービスご案内】

0歳児から小学生未満までのお子様を対象です。

託児料の一部として、お子様一人につき2,000円をご負担いただきます。



イベント託児®マザーズ

☎ 0120-788-222

（平日、午前10-12時、午後1-5時）

受付は公演の1週間前までですが、定員になり次第締め切りとさせていただきます。